

ひと声 一汗 みんなで築こう 豊かなふるさと なたうち

嫁に来たくなる里づくり

協議機構：鉦打ふるさとづくり協議会

実行機構：農事組合法人なたうち・NPOなたうち福祉会・美土里ネットなたうち

1

地域の概要 七尾市中島町鉦打(なたうち)【10集落】



地域の状況

- ・熊木川上流域の中山間地域の10集落
- ・過疎化、高齢化が進行
- ・耕作放棄地が発生

人口減少率34%
高齢化率34%

約23年後
S60年 1,646人 → H20年 1,081人

対策が急務

鉦打ふるさとづくり協議会

課題検討

- (1) 農業の持続的発展
- (2) 地域環境の保全

人口：747人、高齢化率：49%
農地：約130ha、集落機能の維持が困難に

2

鉦打ふるさと創生ビジョンづくりの動機

平成の合併によって取り残されていく「鉦打」
少子高齢化の進行から将来の農業継続や地域の活力低下に危機感

支援機関・団体

七尾市
在京鉦打郷友会
関東中島町友会
金沢大学地域連携推進センター
中能登農林総合事務所

平成4年設立の「鉦打ふるさとづくり協議会」が
平成20～21年に「鉦打サバイバル戦略」を話し合い活動で作成

鉦打ふるさとづくり協議会

鉦打地区町会連合
鉦打公民館
鉦打地区女性会
鉦打壮年団協議会
NPOなたうち福祉会
藤瀬霊水公園管理組合
鉦打は場整備事業組合
朱鷺の棲む里山鉦打クラブ
農事組合法人なたうち
個人5人
美土里ネットなたうち

3

鉦打の地域振興の方針づくりと実践

ビジョンのサバイバル戦略は

- ① 農業を鉦打の産業化する
- ② 収入の確保を図る
- ③ 雇用の場の確保を図る
- ④ 増加する高齢者の生きがい対策を図る
- ⑤ 伝統的な祭りや農業を活用して交流・体験のプログラムの作成

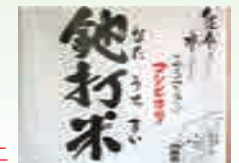
鉦打ふるさとづくり協議会

10集落は
ひとつ！



サバイバル戦略具現化

- ① 鉦打米のブランド化・・・独自販売で収入の確保
- ② 一地区一農場化の実現・・・担い手と雇用の場の確保・所得の向上
- ③ 7集落130haの水田再整備・・・担い手不足・高齢化の進行で耕作放棄地の増加
- ④ 宅老所の開設、集会場の開放・・・ぎりぎりまで住み続けられる高齢者サービス
- ⑤ 美土里ネットなたうちの創設・・・交流・体験活動実施組織、担い手の支援



4

ほ場整備の概要

●権利者数339人うち不在者102人

●農地整備実施地区概要

地区名	工期	総事業費 (百万円)	受益面積 (ha)
北免田・上畠	H24～30	710	30.5
町屋・鳥越	H26～R1	621	28.2
西谷内・古江	H30～R5	926	42.5
藤瀬	H30～R5	480	22.0
合 計		2,737	123.2

事業実施後



北免田



上畠



町屋

※事業完了後の大区画化状況

●ほ場の枚数

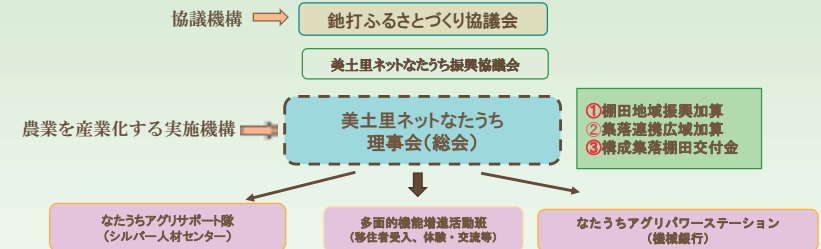
実施前 2,729枚 → 実施後 359枚（8分の1）

●1枚当たり面積（平均）

実施前 1,200㎡ → 実施後 3,440㎡（8倍）

5

指定棚田地域振興活動区域(141ha)



7集落：多面的機能交付金事業を単独集落で実施

北免田棚田組合 超急傾斜1.1ha 急傾斜0 緩傾斜14.7	上畠棚田組合 超急傾斜1.6ha 急傾斜11.7ha 緩傾斜7.5ha	町屋棚田組合 急傾斜0.2ha 緩傾斜11.8ha	鳥越棚田組合 超急傾斜0.67ha 急傾斜2.5ha 緩傾斜13.6ha	藤瀬棚田組合 急傾斜8.3ha 緩傾斜13.3ha	西谷内棚田組合 急傾斜9.9ha 緩傾斜26.0ha	古江棚田組合 急傾斜0.6ha 緩傾斜8.8ha	河内棚田組合 急傾斜2.8ha 緩傾斜3.0ha	別所棚田組合 急傾斜1.8ha 緩傾斜3.3ha
松田農園 8.0ha	（農）なたち 86.0ha	（有）花田農園 24.0ha	丸山勝農園 5.0ha	井田農園 12.0ha	個人農家12戸6ha うち認定農業者1戸			

④構成集落連携で活動の実施

6

スマホ画面

圃場整備後は、中山間地の農業もデジタル化時代に



気象センサー

毎日の気象データ
(気温、湿度、照度、降雨量、風速、
風向、気圧)がスマホに送られ、
蓄積データも取得できる。

◎各種の生育状況を予測できる

困難であった水管理が楽になりました
毎日行かなくても・・・スマホのデータで異常の時のみ現地に行く



水位センサー
(計測データ→スマホに送信)



自動給水栓Aタイプ
(パイプラインに接続)



自動給水栓Bタイプ
(開水路に設置)

7

山間の棚田（土地改良事業区域外）17haの有効利用 農業と伝統的祭り“体験の場”として活用 ファミリー・子供会・企業・大学などで



コロナで活動が停止→継続が困難に

8

住民参加による地域保全体制の確立

【取組】住民参加による用排水路や農道の維持管理を行う体制をつくり、
(農)なたち等の担い手営農を支援

○ 大規模営農においては用排水路や農道の維持管理が大きな負担

営農

農事組合法人なたち
(H27設立:集落営農型)

営農に専念

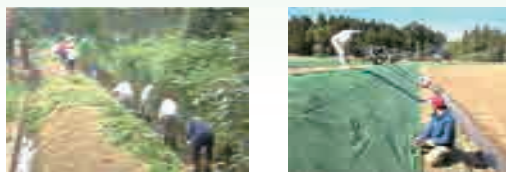
下支え

用排水路・農道

美土里ネットなたち
(H27設立)

地域住民参加による
用排水路・農道の
維持管理を実施

高齢化による参加住民の不足→下支えがない



9

多面的機能支払交付金の活用

7集落：多面的機能交付金事業を単独集落で実施

北免田棚田組合
超急傾斜1.1ha
急傾斜0
緩傾斜14.7

上島棚田組合
超急傾斜1.6ha
急傾斜11.7ha
緩傾斜7.5ha

町屋棚田組合
急傾斜0.2ha
緩傾斜11.8ha

鳥越棚田組合
超急傾斜0.67ha
急傾斜2.5ha
緩傾斜13.6ha

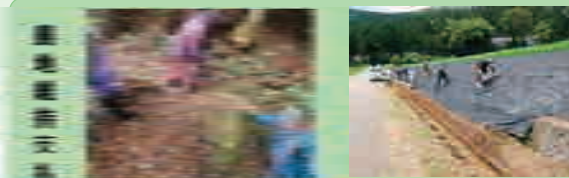
藤瀬棚田組合
急傾斜8.3ha
緩傾斜13.3ha

西谷内棚田組合
急傾斜9.9ha
緩傾斜26.0ha

古江棚田組合
急傾斜0.6ha
緩傾斜8.8ha



農道の長寿命化のための舗装
勾配や路面の凸凹の状況から
直営施工でコンクリート舗装を
計画的に毎年度100m施工



源
向
上
支
払



直営施工風景



施工後の草刈り

10

元気な高齢者の生きがいを活かして

地元農家の農産物・加工品を集荷・販売

地域に商店が無くなったから
3坪の無人店舗開設(令和6年増築計画)



藤瀬地内県道(上島橋付近)



令和4年実績

生産登録農家:17戸
年間販売額:244万円

主な販売品

ネギ、春菊、カボチャ、きゅうり等
野菜一般、野菜苗26種、鮑打米
花苗13種、味噌、漬物、山菜
帽子、カバン等の手芸品等々

遠隔地で店内監視を兼ねて在庫管理を

11

生活サービスの充実

ニコニコ便の運行 デマンドタクシー系・運行区域指定

ドライバー5名(主婦3人 男性2名:講習受講済) (乗車人数:北谷公園2名)

運行日:毎週 月・火・木・金、土曜日は月末のみ(午前中)

令和4年 登録者:31名 延べ利用者:675人



買い物同行



買い物代行

安否確認サービス

ICTを活用した高齢者見守り事業

※24時間照明が点かないとき、民生委員のスマホに連絡が入る。

令和4年 登録者:31名 延べ確認数:413人



12

生活サービスの充実

ニコニコ弁当、なたうち弁当の配食サービス

毎週火曜日のみ（目標・週3回）

令和4年 ニコニコ弁当登録者 31人 年間利用者 256食
令和5年 なたうち弁当登録者 18人 128食（1月～4月末）



70歳以上の登録者：ニコニコ弁当配食
買物支援
安否確認 } 3点セット

60歳以上の登録者：なたうち弁当（配食なし）



今後の検討課題

農地保全対策

- ① 高齢化による深刻な労働力不足の改善
- ② 農作業の省力化、高能率化、高精度化を実現し、営農コストの低減を図る
- ③ 次世代担い手及び新規就農者へ栽培技術の継続的な継承
- ④ データを蓄積することで栽培計画や人材育成に活用
- ⑤ 農業者の営農を持続可能にするため、非農業者が草刈りなどの非生産的活動を担うシステムづくり（美土里ネットなたうちの活動を本格化させる）

- 代掻きハローにGPSレベラーを後付け
- トラクターに自動操舵システムを後付け
- 田植え機に自動操舵システム＋苗量アシスト＋施肥量アシスト
- ライスセンターの集中管理システム
- 多機能・自動化で水管理省力化システム
- 農薬・肥料散布用ドローン
- アグリサポート隊の効率的な運営と拡充
- イノシシ被害防止対策
- 無人草刈り機・ラジコン草刈り機の導入

生活支援・地域活動対策

- ① 伝統的祭り、仏事行事などと農業を組み合わせた活動
- ② 6次産業化の拡大
- ③ 販路拡大
- ④ 安否確認サービスの拡充
- ⑤ 買い物支援サービスの拡充
- ⑥ 配食サービスの拡充

- 活動の公募
- なたうちの情報発信者の確保
- マネジメント人材の確保
- 加工技術者の確保
- 高齢者へのITツールの指導